※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	改訂版　高等学校　社会と情報（数研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、最適な使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

２　学習の到達目標

・身の回りのさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身につけ、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている。	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	出席 学習状況の観察 課題提出等	学習状況の観察 課題提出 小テスト　等	学習状況の観察 課題提出 実技テスト等	学習状況の観察 課題提出 小テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	情報社会の光と影	情報社会が人に及ぼす影響 インターネットでのコミュニケーション ネットトラブル ネット詐欺 電子メールによるコミュニケーション	○ ○	 ○ ○ 	 ○ 	 ○ ○	a:情報社会が人に及ぼす影響や問題点について関心をもっている。 b:ネット上のトラブルの原因や対策について考え，その結果を適切に表現している。 c:インターネットを適切に活用してコミュニケーションを行うことができる。 d:ネット上のトラブルを回避し，インターネットを適切に活用するための知識を身につけている。	出席 学習状況の観察 課題提出 小テスト
	ディジタル情報と情報の活用	コンピュータの構成 ソフトウェア 数のディジタル表現 文字のディジタル表現	○ 	 ○ 	 ○ ○	 ○ ○	a: OS やアプリケーションなどのソフトウェアに関心をもち，積極的に活用しようとしている。 b:コンピュータの中の CPU やメモリ，補助記憶装置の役割について考えている。 c:数値や文字を 2 の補数表現や文字コードで表すことができる。 d:数値や文字をディジタル表現する方法を理解している。	出席 学習状況の観察 課題提出 小テスト
	情報通信ネットワーク	通信とその進展 マスコミュニケーションの進展 情報の伝達手段と表現形式 パケット通信	 ○	 ○ 	○ 	 ○ 	a:パケット交換方式による通信に関心をもっている。 b:LAN の配線形態や規格について考えている。 c: モールス符号で短い情報を表現することができる。 d: マスコミュニケーションの進展について理解している。	出席 学習状況の観察 課題提出 小テスト

※令和３年度以前入学生用

後期	望ましい情報社会の構築	あらゆるところに組みこまれるコンピュータ ユニバーサルデザイン 問題解決のプロセス データの分析	○	○	○	○	a:バリアフリーやユニバーサルデザインについて関心をもっている。 b: データの分析において，目的に応じた分析の方法を考え，その結果を適切に表現している。 c:問題解決を行うために，情報機器を効果的に活用することができる。 d: 身のまわりでコンピュータや情報システムがどのように利用されているか理解している。	出席 学習状況の観察 課題提出 小テスト 実技テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。